

東日本大震災被災地支援

復興イベントに清水焼の陶器を出店

8月27日・28日に岩手県陸前高田市で「復興街づくりイベント」が開催されました。そのイベントには、京都伝統工芸大学の学生が「高田松原」の松を京都・清水寺の大日如来座像として再生させる「1万人ひとノミひと削りで、再び輝きを！」会場が設けられました。

また、全国のグルメ・特産品等のブースも設けられるため、同大学から清水焼団地協同組合に8月初旬、本事業への支援の依頼があり、清水焼の陶器が被災地の皆様にお役に立てればと思い、協賛させてい



ただくことになりました。

陶器は、日常生活で使用する食器を用意し、同じ京都から参加されていた井筒屋さんの八ツ橋とセットで販売しました。

京都の陶器とお菓子がセットで、しかも安価で買えるということで、たくさんの方々に買っていただき、大盛況でし



た。両日用意した品はまたたく間に完売しました。その収益はすべて、被災地支援の募金とさせていただきます。

これからの被災地の皆様の復興と、寒さが益々厳しくなるおり、京都・山科の清水焼の陶器が被災された皆様の食卓で、少しでも温まる器となることを心から願っております。

清水焼団地協同組合理事
臼谷保夫

スポーツの秋

第23回市民スポーツフェスティバル 山科区は総合第5位

11月3日、西京極総合運動公園で第23回市民スポーツフェスティバルが開催され、山科区からはソフトバレーボールやグラウンドゴルフなど43チーム、約350人が出場しました。

成績(入賞以上)

ペタンク 優秀チーム
山階A、鏡山A、音羽

ソフトバレーボール 優秀チーム
山階A、鏡山A、山階南A・B、大塚A、小野B



第21回山科区民ニュースポーツ祭

11月6日、第21回山科区民ニュースポーツ祭が開催されました。グラウンド・ゴルフ大会は残念ながら雨天のため、中止となりました。

ソフトバレーボール大会では、大宅体振の5連覇を阻止し、百々Bチームが初優勝を果たしました。ソフトバレーボール
優勝 百々B 準優勝 大宅B

3位 勸修、山階南A
優秀チーム 鏡山A、山階南B、小野A、西野B



●問合せ先/区まちづくり推進課(☎592-3088)

はねず踊り 国民文化祭に出場

財団法人伝統文化活性化国民協会の認定事業である「はねず踊り」が、京都を代表する伝統文化ということで、京都府の依頼を受け、「第26回国民文化祭・京都2011」で披露されました。

国民文化祭とは、舞踊・演劇・美術など日本中で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、日ごろの成果や実力を披露する「国内最大の文化祭典」です。毎年、各都道府県持ち回りで開催されます。

10月30日に京都駅前広場特設会場で開催された「Welcome京都DAY」の大ステージで、はねず(薄紅)色の華やかな衣装に身を包んだ少女たちが踊りを披露し、小野小町と深草少将との悲恋のわらべ歌に合わせた、上品で愛らしい踊りに会場から大きな拍手が起こりました。

●問合せ先/はねず踊り保存会
(☎571-0025)



勸修寺菊花展表彰

勸修寺菊花愛好会の方による菊花展が10月19日から11月15日まで勸修寺で行われ、表彰されました。



主な入賞者は次の方です。

大本山勸修寺宮門跡賞
岩下 友行さん
京都市長賞
林 忠司さん
山科区長賞
林 晃さん
勸修寺菊花愛好会会長賞
森川 八洲男さん
京都新聞社賞
小林 四代嗣さん



みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第7回 連載 区民活動きずなリレー

～ようこそ山科におこしやす!～ 老人クラブ連合会の観光道案内

区民と行政が一緒に作った「第2期山科区基本計画」が今年4月にスタート!このコーナーでは計画に関する区民活動を紹介し

ます。今回は、5つの基本施策のうち「まちの魅力・観光を磨く」に関連して、JR山科駅前観光道案内を続けている山科区老人クラブ連合会の活動です。

京都市に来られる年間の観光客5千万人が一番集中するのは桜の4月と紅葉の11月。山科でも毘沙門堂、疏水、勸修寺、随心院と、桜や紅葉の季節にはたくさんの観

光客が訪れます。その多くが玄関口として利用するJR山科駅は大変混雑し、駅前の観光案内板や地図だけでは迷う人も多いことから、平成15年4月から、老人クラブ連合会が観光道案内をボランティアとして始めました。当初から春秋の年2回実施し、



年々参加者も多くなり、今年の春は延べ99人が参加しました。1シーズンには土日の4日間活動します。

活動内容は、おこしやす“やましな”協議会が発行するマップなどの資料を観光客にお渡しし、質問に答えることです。会長の芝本さんは、「観光客は増えていて、現在マップは春に6千枚、秋には4千枚を配布します。できるだけ質問に答えられるよう、例えば春は毎日桜の開花度をチェックしています」とおっしゃいます。

メンバーの神井さんは、退職して10年をきっかけに参加されました。「現役の頃は山科のことは分からなかったが、この活動で山科のことを学ぶことができ、充実しています」とのことです。

副会長の羽立さんは「当初から参加していますが、地元山科のことは案外知らないものです。区

民の方が区役所と一緒に作られた冊子『東西南北』で勉強



●京阪改札前での実施の様子

しています。毘沙門堂、勸修寺や随心院は有名ですが、他の魅力もぜひお伝えして山科全体にもっと人を呼び込みたいです」と、今後の抱負を語っていただきました。観光客の頼りになる観光道案内。

老人クラブ連合会の方々の活躍は山科の観光振興にとって心強い存在です。

●問合せ先/区総務課企画広報担当(☎592-3066)